



富山競輪場における「ギャンブル空間」の形成

人文地理学研究室4年 笹池 結太



I.はじめに

1.問題の所在

宝くじ・サッカーくじ・競馬・競輪・オートレース・競艇・・・公営ギャンブル

公共団体が設置し開催するという意味において「公営」ではあるが、提供するサービスの面から見た場合には「公共」とは言い難い(寄藤 2005)



公営ギャンブルは、収益を公共の目的のために利用するという意味で、愛好者の財を占有的に収奪することで成立していると言える(紀田 1966)

I.はじめに

1.問題の所在

日本で公営ギャンブルの愛好者の属性や特徴を包括的に明らかにした研究は少ない



高橋(1972) 日本の社会学者によるギャンブル研究が是非論に偏り、実証的な蓄積が薄い

谷岡(1998) 日本のギャンブル研究が少ない理由はアカデミズムにおけるギャンブル研究のタブー視にある

I.はじめに

1.問題の所在

マーシャル(2002) オーストラリアにおいて低所得者が集住する地区に重点的にポーカー賭博機が設置されていることを明らかにした



マンテイング(1996) イギリスにおいて低所得の人々によって相対的に多く購入される宝くじの余剰金が、分配の時点で高所得者層の居住する地域のスポーツ施設に利用されていたことを示唆



I.はじめに

1.問題の所在

先進国でのギャンブル研究の蓄積は厚く、ギャンブルと貧困や階層との関係に実証的に踏み込むものも少なくない



日本の公営競技の愛好者はどのような人々で、その実施地域はどのような歴史を持ち、現在ではその周辺でどのような現象が生起しているのかといったことが明らかにされる必要がある

I.はじめに

1.問題の所在

賭博制度化の契機・・・英国式競馬(高橋 1972)
→庶民の日常生活の賭博への欲求を社会的・空間的に囲い込み、公益事業の名のもとに独占



なぜ国家は国民に賭博行為を禁じ、ギャンブルを特定の空間に押し込め、規制・監視しようとするのか？

遊びとしてのギャンブルは偶然の中に身を任せることによって一時的に「日常性」において構築された地位や役割規範から解放され、またこれを超越しうる感覚を行為者にもたらす作用を持つ(小関 1974)

I.はじめに

2.既存研究

寄藤(2005) 愛知県常滑市の常滑競艇場を事例に



- ①公営ギャンブル場
- ②ギャンブルを目的に人々が集まることで生成する、公営ギャンブル場を中心とした行動空間
- ③これらの空間をめぐって繰り広げられる実践と表象
→「ギャンブル空間」= 社会的に隔離された空間



隔離の一方、競艇客に独特の行動様式が顕在化する空間が作られていることを明らかにした

I.はじめに

3.研究目的

常滑競艇場…競艇場外にも飲食店などがあり、場外にも空間的広がりが見られる

富山競輪場…競輪場外に飲食店などがなく、場外には空間的広がりが見られない



富山市の場合、「ギャンブル空間」は富山競輪場内のみで形成されていると考えられる

富山競輪場の「ギャンブル空間」の形成過程を調べ、富山競輪の愛好者はどのような人々で、その実施地域である富山競輪場はどのような歴史を持ち、現在ではその周辺でどのような現象が生起しているのかを明らかにする。

II.富山市における競輪事業

1.競輪の概要

1948年の自転車競技法の制定と共に誕生
主催は地方自治体

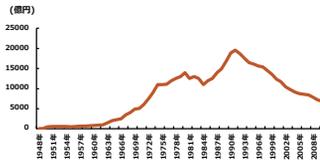


図1 競輪の売上高の推移 (競輪五十年史、公営競技売上げ高推移により作成)

近年の競輪事業の全国的な状況は芳しくなく、廃止が論じられている自治体も多い

II.富山市における競輪事業

2.富山市における競輪事業の導入と展開

調査資料

富山地所株式会社 2001.『富山地所株式会社50年史』

- かつての富山競輪場の所有者である富山地所株式会社により作成
- 富山競輪の導入、富山競輪場建設の経緯が記載



II.富山市における競輪事業

2.富山市における競輪事業の導入と展開

1945年 富山大空襲 富山市の99.5%が破壊

1949年 競輪事業の導入検討開始



有望な財源として公営ギャンブルの導入を検討

1951年 富山競輪場完成 富山競輪開催

収益は富山市の教育費として振り分けられた

III.競輪場と地域社会

1.富山競輪場の概要

富山競輪場

主催 富山市

競技実施 JKA中日本地区本部支部

場内入場 50円

追加で1000円程度支払うことで特別観覧席の使用が可能



図2 富山競輪場の場内マップ (富山競輪場ホームページから)

Ⅲ.競輪場と地域社会

2.競輪場の立地



富山市岩瀬池田町
大正～昭和時代 岩瀬港臨海工業地帯
戦後 北陸工業地帯として国土復興の一翼を担った

工業用地の一角にある遊休工場敷地を利用して富山競輪場を建設

図3 調査対象地域・富山県富山市
(オープンストリートマップにより作成)

Ⅲ.競輪場と地域社会

2.競輪場の立地



岩瀬池田町には居住地域は無く、競輪場の近くには迷惑施設と呼ばれる、火葬場、ごみ処理施設が集中し、異質な空間が創出されている

図4 富山競輪場とその周辺の立地
(オープンストリートマップにより作成)

Ⅲ.競輪場と地域社会

3.富山競輪場における競輪客の行動

調査期間 2017年7月12日、7月14日 午前10時～午後4時
調査内容 年齢、性別、職業、居住地、競輪場までの交通手段、家族の有無、観戦の際に使用するスタンド、誰と一緒に観戦するか

表1 調査対象者

性別	年齢	職業	居住地	交通手段	家族の有無	観戦の際に使用するスタンド	誰と一緒に観戦するか
男性	20代	学生	富山県内	徒歩	有	有料席	家族
男性	30代	会社員	富山県外	バス	有	無料席	友人
男性	40代	会社員	富山県内	徒歩	有	有料席	家族
男性	50代	会社員	富山県外	バス	有	無料席	友人
男性	60代	会社員	富山県内	徒歩	有	有料席	家族
男性	70代	会社員	富山県外	バス	有	無料席	友人
男性	80代以上	会社員	富山県内	徒歩	有	有料席	家族
女性	20代	学生	富山県内	徒歩	有	無料席	友人
女性	30代	会社員	富山県外	バス	有	有料席	友人
女性	40代	会社員	富山県内	徒歩	有	無料席	友人
女性	50代	会社員	富山県外	バス	有	有料席	友人
女性	60代	会社員	富山県内	徒歩	有	無料席	友人
女性	70代	会社員	富山県外	バス	有	有料席	友人
女性	80代以上	会社員	富山県内	徒歩	有	無料席	友人
計							

表2 競輪客の観戦形態

性別	年齢	職業	居住地	交通手段	家族の有無	観戦の際に使用するスタンド	誰と一緒に観戦するか
男性	20代	学生	富山県内	徒歩	有	無料席	友人
男性	30代	会社員	富山県外	バス	有	有料席	友人
男性	40代	会社員	富山県内	徒歩	有	無料席	友人
男性	50代	会社員	富山県外	バス	有	有料席	友人
男性	60代	会社員	富山県内	徒歩	有	無料席	友人
男性	70代	会社員	富山県外	バス	有	有料席	友人
男性	80代以上	会社員	富山県内	徒歩	有	無料席	友人
女性	20代	学生	富山県内	徒歩	有	無料席	友人
女性	30代	会社員	富山県外	バス	有	有料席	友人
女性	40代	会社員	富山県内	徒歩	有	無料席	友人
女性	50代	会社員	富山県外	バス	有	有料席	友人
女性	60代	会社員	富山県内	徒歩	有	無料席	友人
女性	70代	会社員	富山県外	バス	有	有料席	友人
女性	80代以上	会社員	富山県内	徒歩	有	無料席	友人
計							



(アンケート調査により作成)

Ⅲ.競輪場と地域社会

3.富山競輪場における競輪客の行動

競輪客への聞き取り結果

- A氏…60代男性 良い環境で観戦するため有料で特別観覧席を利用
- Bさん…80代女性 無料の一般観覧席を利用
理由は「有料席はお金持ちがいる感じがして嫌」
- C氏…60代男性 職場の友人と観戦
- D氏…60代男性 競輪場で知り合った友人と観戦



Ⅳ.富山競輪場が形成する「ギャンブル空間」の考察

- ・富山競輪の愛好者は60代の男性が多い
- ・競輪場外での人間関係が持ち込まれることもあるが、そこから新たな人間関係が構成されることもある
- ・一人で競輪場を訪れる場合、場内で友人を作る例は多くなく、現在では有料施設を利用するかどうかなどによる人間関係の差異が生まれるという現象が生起



富山競輪場は、立地空間だけでなく場内でもまた独特な空間が形成されている。愛好者にとって、場内で友人ができる者には共通の特殊な趣味を持つ者同士でコミュニケーションをとることができる場になる。また、友人ができず一人で観戦する者には自分の趣味に没頭することができる場になり、それぞれが快適に感じることのできる空間を作り出している。

Ⅴ.おわりに

富山競輪場…戦災の復興財源の捻出のために設立
人々の生活空間と切り離された空間に立地
競輪場内部でも異質な空間が形成

富山競輪愛好者…60代以上の男性が中心
競輪場内部でそれぞれが快適に感じることのできる場を利用



ギャンブル空間は、愛好者が財を支払うことにより自らの居場所を確保するための役割を担っている。

VI. 参考

荻野寛雄 2001. 競馬事業における連続性. 早稲田政治公法研究 66 99-126.
小関三平 1974. キャンブルの人間学. 小関三平『文化批判の社会学』152-168.
ミネルヴァ書房
紀田順一郎 1966. 『日本のギャンブル』161-162. 桃源社
競輪五十年史編纂委員会 1999. 『競輪五十年史』44-46, 資料編12-13. 日本自転車振興会
『神戸新聞』2002年3月20日.
小谷文夫 1982. キャンブルと刑法. 石原一彦・佐々木史朗・西原春夫・松尾浩也編『社会生活と刑罰』229-255. 日本評論社
荘子邦雄 1960. 賭博と富貴との区別. 木村亀二編『刑法』181-189. 青林書院
杉山和明 1999. 社会空間としての夜の空間—富山市「駅前」地区を事例として—. 人文地理 51 (4) : 68-81.

VI. 参考

高橋勇悦 1972. 『ギャンブル社会—賭けの都市社会学』151. 日本経済新聞社
谷岡一郎・仲村祥一編 1998. 『ギャンブルの社会学』i. 世界思想社
『中日新聞』2013年5月31日.
十地満 2015. 北陸の公営ギャンブルの現状と課題. 北陸経済研究2015.9・10合併号16-25.
富山地所株式会社 2001. 『富山地所株式会社50年史』1-8,12-18,22-23,38,64-72,132-137. 『富山地所株式会社50年史』編集委員会.
野呂修次郎 2008. 『よくわかる競輪のすべて 推理・スピード・スリル・快感 初級中級向き新編』82,125. 三思書房
前田雅英 1989. 『刑法各論講義』東京大学出版会.
マーシャル (山田晴通訳) 2002. クラブ, スペード, ダイヤ, 思まれない立場—メルボルンにおける電子ゲーム機「ボーカー」賭博機」の地理. 地理科学 57 (2) :48-65.
宮塚利雄 2002. バチンコ. 谷岡一郎・宮塚利雄編著『日本のギャンブル』135-151. 大阪商業大学アミューズメント産業研究所

VI. 参考

村田陽平 2000. 中年シングル男性を疎外する場所. 人文地理 52 (6) :1-19.
森口将之 2011. 『富山から拓がる交通革命 ライトレールから北陸新幹線開業に向けて』92-113 交通新聞社
『読売新聞西部本社 九州発』2002年4月9日
寄藤晶子 2005. 愛知県常滑市における「ギャンブル空間」の形成. 人文地理 57 (2) :5-26.
Marshall,D.C. 1998.'Missing The Jackpot? The Proliferation of Gambling in Australia and its Effect on Local Communities'. Australian Geographical Studies 36 (3) :237-247
Munting,R. 1996. An economic and social history of gambling in Britain and the USA. Manchester University press.

VI. 参考

公営競技売上高推移
www.city.utsunomiya.tochigi.jp/_res/.../010/.../koueikyougisiryou12_030710.pdf
(2018年2月6日確認)
競輪公式ホームページ keirin.jp/pc/top (2018年2月6日確認)
ドリームスタジアムとやま 富山競輪場公式サイト
<https://toyama-keirin.com/> (2018年1月8日確認)
平成27年富山市の人口 (国勢調査から)
<http://www.city.toyama.toyama.jp/data/open/crit/3/16301/1/kekkgaiyou.pdf>
(2018年1月8日確認)
平成28年富山市の面積 (国土交通省国土地理院「全国都道府県市区町村別面積調」から)
http://www.gsi.go.jp/KOKUJIYOHO/MENCHO/201610/16_toyama.pdf
(2018年1月8日確認)